

静岡県 高校入試情報

令和7年度静岡県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問は地2・歴1・公1の計4問

○小問は34問（昨年は35問）

○文章記述問題は9問（昨年は10問）

●出題傾向について

○各分野とも基本的な知識を問う問題もあるが、資料を使った問題も多い。

○地理分野では地形図の読み取り、統計資料から国を特定する問題が出題されている。

○歴史の並べ替え問題が1問出題されている。

○例年通り資料を読み取り、要点を70字で述べる問題が出題されている。

★静岡県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■活用問題の出題

・例年、資料から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

➡

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」（p. 194～197）では、複数の資料を読み取る問題や、自分の意見を記述する問題など、最新入試問題からピックアップした、今後も出題されそうな新しいパターンの問題を掲載しています。入試対策の仕上げとして取り組むことができます。

■地形図を読みとる問題の出題

・例年、地形図の読み取り問題が出題されているため、地形図の問題に慣れておく必要がある。

➡

新研究で対策！

●「フォロー特集 わかる！地形図の読み取り方」（p. 44）では、地形図の読み取り方の基本を穴埋めをしながら理解できます。さらに、「7 地域調査の手法」（p. 36～39）では、新旧地形図の比較や地形図と景観写真についても図解。ていねいな解説で、地形図の読みとり方がきちんと理解できます。

★新研究で出題した静岡県の入試問題(令和7年度)

◆p.7 大問1 ◆p.7 大問1 ◆p.53 ◆p.77 大問1 ◆p.85 大問3 ◆p.93 大問2

◆p.113 大問3 ◆p.141 大問3 ◆p.145 大問3 ◆p.157 大問1 ◆p.186 大問4

静岡県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！

★静岡県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
		日本の姿	●		●	
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●	
		アジア州	●	●	●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州		●		●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●		●
		地域調査の手法	●	●	●	●
		日本の自然, 人口	●	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方	●			●
		近畿地方, 中部地方			●	
		関東地方, 東北地方, 北海道地方		●		
	歴史的分野	文明のおこりと日本			●	●
		古代国家の歩み	●	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●		●	
		近世社会の発展		●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●		●
		近代日本の歩み	●	●		
		二度の世界大戦と日本		●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活				
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●	●
		現代の民主政治, 国会	●			●
		内閣・裁判所, 三権分立		●		●
		地方自治			●	●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●	●
		地球社会と私たち			●	
	分野統合					
出題形式別の傾向	大問数	4	4	4	4	
	小問数	35	35	35	34	
	記号解答	14	12	14	17	
	用語記述	12	10	11	8	
	文章記述	9	13	10	9	
	作業・作図					